

空中撮影データによる地上任意視点の実時間 3次元動画生成システムの研究開発（株式会社ハイコム）平成 17 年度事後評価結果

項目	評価	総合所見
総合所見	C	<p>本研究開発は、受託者が実質的に倒産という状況に至ったため、技術評価および事業化評価を的確に実施することは困難である。なお、研究開発成果としては、再委託先から論文発表、特許出願等が行われており、画像処理の分野での応用の可能性はある。</p> <p>(参考)</p> <p>本研究開発は、平成 15 年度に中間評価を実施し、改善指摘があったものの、当該指摘事項に対する受託者からの改善提案を再評価した結果、中間評価段階では一定の評価を得ていたものである。</p> <p>同中間評価における技術面においては、中間目標として提示されていた個々の要素技術の達成度は概ね良好であった。</p> <p>また、研究計画においては、既存技術に対する提案手法の差別化を図り、より一層、提案手法の優位性を明らかにするような方向で目標の再検討が行われたことから、十分な評価であった。</p> <p>なお、事業化面においては、営業体制を整備し、販売製品を実際的なシステム構築に結びつけたパッケージ製品の計画としたことで、一定の評価であった。</p>